

## 今月の一言

### キーワード：チーム力

第31回夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会が21日に閉幕し、日本は金12、銀8、銅21と史上最多の計41個のメダルを獲得しました。競泳男子400メートル個人メドレーで萩野公介が最初の金メダル！チーム日本のムードが盛り上がりました。

富山県勢は、個人種目レスリング女子48キロで登坂絵梨、2回戦から登場し、危なげない試合運びで3人を下し、決勝に進み、決勝では前回ロンドン五輪銀メダルのマリア・スタドニク（アゼルバイジャン）を相手に、1-2の終了間際にタックルを決めて2点を奪い、逆転勝ち！

柔道女子70キロで田知本遥、決勝の相手はロンドン五輪の銅メダリストのジュリ・アルベアル（コロンビア）開始1分を前にまず指導を受けたが、1分30秒過ぎには強引に得意の大外を仕掛け、アルベアルが強引に投げにきたが、逆に返し技で倒して有効を取ると、そのまま横四方固めに押さえ込んで合わせ技で1本勝ちをつかんだ。おめでとうございます！

団体競技では、体操男子団体総合・バドミントン女子ダブルス・卓球男子団体・卓球女子団体・競泳男子800メートルリレー・シンクロナイズスイミングなど、チーム力が発揮され多くの人に感動を与えてくれました。特に、陸上男子400メートルリレーは、練習で磨きをかけた日本独自のアンダーハンドパスは100点満点の出来で、ウサイン・ボルトがアンカーでなければ金メダル！

チーム日本として、競技力向上の為に衣食住も含め全面的にサポート。また、各個人は役割を十分に理解し、最後まで諦めない姿勢が結果として現れました。

今回活躍した若い選手の成長が、2020年東京五輪では多くのメダル獲得になることを期待しています。

## チーム第一交易 頑張ろう！

2016年8月25日

さいのう とおる

**追伸：残暑厳しい毎日です。体調管理を怠らないようにしてください。**